

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	砂防課長 江角 功	電話番号	0852-22-5205
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	雪崩対策事業		
目的	(1) 対象	雪崩危険箇所に住居する住民並びに住家等	
	(2) 意図	雪崩災害に対し、県民が安全に暮らせる環境を整備する	
事業概要	・雪崩危険箇所の雪崩災害防止のため、交付金事業により、擁壁、予防柵等の雪崩防止施設の整備を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			雪崩危険箇所に対し、雪崩災害防止対策を講じた箇所の保全される人口の累計	目標値		453.00	453.00	519.00	519.00
		前年度までの保全済み人口数+当該年度概成箇所の保全人口数	実績値	438.00	453.00	489.00	489.00		
			達成率		100.00	107.90	94.30		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				戸
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	47,254	0
うち一般財源(千円)	2,426	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度までに雪崩災害から保全された人口は489人と目標値（519人）を下回っている。 県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成26年度末までに整備を完了した箇所は16箇所と未だ低い水準（整備率3.0%）にある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 事業予算の確保に努めるとともに、事業効果の高い箇所の整備を重点的に進めた結果、平成26年度までに16箇所の整備を完了した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成26年度末までに整備を完了した箇所は16箇所と未だ低い水準（整備率3.0%）にある。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の限られた予算の中では、整備完了箇所の大幅な増加は望めない。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 未整備箇所は依然として多く残されていることから、さらに事業予算を確保する必要がある。 事業効果の高い箇所の整備を引き続き重点的に推進する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 事業予算を確保するとともに、避難所、要配慮者利用施設等事業効果の高い箇所の整備を引き続き重点的に推進する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--